

jige 使い方ガイド

- jige 使い方ガイド（日本語）
 - 1. jige とは？
 - 2. インストール
 - 3. 画面をひと目で
 - 4. 端末をつなぐ（ペアリング）
 - 5. メモを書く
 - 6. 整理する
 - 7. 共有する
 - 8. セーフモード（セキュリティ）
 - 9. アクセシビリティ
 - 10. AIアシスタントでメモする
 - 11. 地図で位置を見る
 - 12. 言語を変える
 - 13. アップデート
 - 14. うまくいかないとき
 - 15. プライバシーとセキュリティ
 - 16. お問い合わせ

jige 使い方ガイド（日本語）

jige をはじめて使う方でも進められるように作った案内です。このガイドは **PDF・ウェブページ（HTML）・電子書籍（EPUB）・点字ファイル（BRF）** で提供します。画面を読み上げるスクリーンリーダーでも読みやすいよう、すべての手順を文章で説明しています。

- ・ 製品：jige ・ 制作：ActuallyWorks Co., Ltd.
- ・ お問い合わせ：hello@actuallyworks.net ・ actuallyworks.net

1. jige とは？

jige は **複数のPCのAIエージェント（Claude や Cursor などのAIツール）** が、同じメモを分け合って使えるようにするアプリです。別々のコンピュータにあるAIツールが、ひとつのノートと一緒に読み書きします。もちろん、人も複数の端末で同じメモと一緒に使えます。

- ・ 同じWi-Fi（同じルーター）につながった自分の端末の間で、メモ・写真・ファイルが自動的にやり取りされます。
- ・ インターネットのサーバーには上げません。自分の端末と自分のネットワークの中だけでやり取りします。
- ・ **登録もログイン也不需要**。
- ・ Windows と Mac で使え、**個人利用は無料**です。

こんな使い方ができます - デスクトップの Claude に「この内容を jige にメモして」と言えば、ノートPCの別のAIツールもそのメモを参照できます。（AIツール連携は第10章へ） - 人も、オフィスのPCで書いたメモを、同じWi-FiのノートPCですぐ見られます。

2. インストール

Windows

1. actuallyworks.net/jige から **Windows用インストーラ（.exe）** をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、案内に従ってインストールします。
3. インストールが終わると jige が起動します。（次回からはスタートメニューから開けます。）

会社で複数台にまとめてインストールするときは、**.msi** ファイルを使います。

Mac

1. actuallyworks.net/jige から **Mac用ファイル（.dmg）** をダウンロードします。（Intel・Apple Silicon の両方を1つで対応。）
2. .dmg を開き、jige アイコンを **アプリケーション（Applications）** フォルダへドラッグします。
3. アプリケーションから jige を起動します。

3. 画面をひと目で

- **上部**：新しいメモを書く入力欄と、検索欄。
 - **中央**：これまでのメモがカードで表示されます。
 - **設定（）**：言語、アクセシビリティ、セーフモード、地図など、すべての設定がここに。
 - **デバイスと同期**：他の端末と接続（ペアリング）し、接続状態を見る場所です。
-

4. 端末をつなぐ（ペアリング）

2台の端末でメモをやり取りするには、最初に一度 **ペアリング（お互いを信頼登録）** します。

まず確認：2台が **同じWi-Fi（同じネットワーク）** につながっている必要があります。

ペアリングの手順

1. 両方の端末で「**デバイスと同期**」を開きます。
2. 片方の端末で「**ペアリングコードを表示**」を押すと、**6桁のコード**が出ます。（コードはまもなく期限切れになるので、すぐ進めてください。）
3. もう片方の端末の「**見つかった端末**」一覧から相手を選び、「**ペアリング**」を押します。
4. さきほどの **6桁のコード**を入力して「**確認**」を押します。
5. つながると相手が「**信頼済みの端末**」として登録され、以後は **自動で同期**されます。

うまくつながらないとき

- 2台が **同じWi-Fi** か、もう一度確認してください。
- **Windows** は、最初にファイアウォールの画面が出たら jige の「**プライベートネットワーク**」を**許可**にチェックします。
- 「**デバイスと同期**」で「 **再接続**」を押してみてください。
- 接続を切るには、信頼済みの端末の横の「**解除**」を押します。

5. メモを書く

テキストメモ

1. 上部の入力欄に内容を書きます。
2. 保存するとカードとして追加され、つながっている端末にもまもなく表示されます。

写真・ファイルの添付

- 入力欄の横の **添付（ファイル選択）** でファイルを選ぶか、
- 写真はコピーして入力欄に **貼り付け** ることもできます。

声で書き取り（音声入力）

- 入力欄の **マイク**（）を押して話すと、インターネットなしで **端末の中で** 文字にします。
- 話した言語のまま書かれ、静かすぎたり聞き取れないときは、もう一度試すよう知らせます。
- 初回はマイクの許可を聞かれたら **許可** してください。

6. 整理する

タグとグループ

- メモの中に **#約束**、**#買い物** のように書くと、同じタグどうしが **自動でまとまって** 表示されます。

表示のしかた

- **全体表示・グループ表示・リスト表示** から選べます。
- **リスト表示** は1行ずつ順に読まれるので、スクリーンリーダー・キーボードの方に便利です。
- 最後に選んだ表示を覚えています。

検索と並べ替え

- 上部の **検索欄** でメモを探します。グループ内だけを探す「**このグループ内で検索**」もあります。
 - **並べ替え** は、新しい順・古い順・タイトル順から選べます。
-

7. 共有する

- メモは標準で **つながっているすべての自分の端末** と共有されます。
 - 特定の端末だけに送るには、メモを書くときに **共有先（端末）** を選んで指定します。
 - 受け取る端末がオフでも、その端末が **オンになったとき自動で届きます**。
 - **非公開** にしたメモは他の端末に送らず、**この端末だけ**に残します。
-

8. セーフモード（セキュリティ）

メモをより安全に保管したいときは、**設定 → セキュリティ** で **セーフモード** をオンにできます。

セーフモードをオンにすると： - 端末に保存される **メモと添付ファイル**を鍵をかけて（暗号化して）保管します。ファイルだけ持ち出されても開けません。 - 端末どうしのやり取りも **他の人に読まれないよう** 保護します。 - つながった端末が **本当に自分の端末か確認** します。

鍵は OS（Windows・Mac）の **安全な保管庫** に保管されます。セーフモードは **端末ごとに別々** にオン・オフでき、インターネットがない環境でもそのまま動きます。

注：セーフモードで暗号化したあとは、この機能がない **古いバージョン** ではそのデータを開けません。

9. アクセシビリティ

jige は、目の不自由な方・弱視の方を最初から考えて作りました。

読み上げ・キーボード

- スクリーンリーダーで読めるよう、画面の各要素に説明が付いています。

- ・ マウスなしで キーボードだけ で全部使えます。

弱視向け設定（設定 → アクセシビリティ）

- ・ 文字サイズ：ふつう・大きく・とても大きく。
- ・ ハイコントラスト：薄い文字・枠を濃くします。
- ・ モーションを減らす：画面の切り替え・動きをオフにします。

声で書き取り

- ・ 第5章の マイク（）で、インターネットなしに音声で文字にします。

文書に書き出し（HTML・EPUB・点字 BRF）

- ・ カードの下、グループの見出し、表示ツールバーの 書き出し（）を押します。
- ・ 保存形式を選びます：
 - HTML：ウェブページ。スクリーンリーダーで読みやすい。
 - EPUB：電子書籍。電子書籍アプリ・スクリーンリーダーで読めます。
 - BRF：点字ファイル。点字ディスプレイや点字プリンターで読み・印刷できます。

ヘルプ・「位置を見る」

- ・ ヘルプで各機能の説明を見られ、「位置を見る」を押すと該当のボタンへ画面が移動し、音声で案内します。

10. AIアシスタントでメモする

Claude Code・Cursor・VS Code・Antigravity・Codex などの AIアシスタントアプリ から、jige をそのまま使えます。

- ・ これらのアプリで、次のように言う（入力する）だけです：
 - 「この内容を jige にメモして」

- 「〇〇（端末名）にこのファイルを共有して」
- 「最近共有したメモを整理して」
- ・各アプリに jige が一度つながれば、以後は自動で認識されます。

💡 **こう使うと便利** — AIが作ったものを「自分のもの」として理解する AIに何かを頼むと、設計や理由を長く説明してくれますが、忙しいと読み飛ばしがちです。すると「作ったけれど、なぜそうなのか説明できない」状態になります。 - AIに「**要点の設計・理由を jige にまとめてメモして**」と頼んでおきましょう。 - あとでそのメモを開けば、**自分が（AIで）作ったものが何で、なぜそうしたのか**を読み返して理解できます。 - 別の端末・別のAIツールからも、その記録を引き継いで参照できます。

11. 地図で位置を見る

- ・メモに **座標**（例： `37.5665, 126.9780` ）や **地図リンク** を書くと、カードに位置として表示されます。
 - ・オンラインのとき：「**地図で見る**」で地図を開けます。このとき位置が地図サービス（Google）に送られるため、**事前に知らせて同意を得てから** 開きます。（「次回から確認しない」を選べます。）
 - ・オフライン・閉域網のとき：送信せず **座標だけ** を表示します。
 - ・地図機能は **設定 → 地図** でオン・オフできます。
-

12. 言語を変える

- ・ **設定 → 言語** で **한국어 · English · 日本語** から選べます。
 - ・最初は端末の言語に合わせて表示されます。
-

13. アップデート

- 新しいバージョンは自動で確認してお知らせします。（現在 **Windows** で自動アップデートに対応。Mac は準備中です。）
 - 設定の「**アップデートを確認**」で手動確認もできます。
-

14. うまくいかないとき

相手の端末が見えない / つながらない - 2台が **同じWi-Fi** か確認してください。 - Windows はファイアウォールで jige の「**プライベートネットワーク**」を許可してください。 - 「デバイスと同期」で「 **再接続**」を押してください。 - それでもだめなら、2台とも jige を **いったん終了して開き直して** ください。

「**再接続**」の案内が出続ける - 相手が **別のネットワーク** にいると見つからず、「未接続・別のネットワーク？」と表示されます。同じWi-Fiに戻れば自動で再接続します。

アップデートできない - インターネット接続を確認してください。少し待って再試行するか、設定の「**アップデートを確認**」を押してください。

音声入力ができない - マイクの許可を確認してください（Mac：システム設定 → プライバシーとセキュリティ → マイク）。

15. プライバシーとセキュリティ

- あなたのメモ・写真・ファイルは **自分の端末と自分のWi-Fiの中だけ** にあります。会社のサーバーには上げません。
- インターネットを使うのは ① 新バージョンの確認、②（オンにしたとき）地図の表示 — の2つだけで、どちらも任意です。
- さらに強く守りたいときは **セーフモード**（第8章）をオンにしてください。

16. お問い合わせ

- メール：hello@actuallyworks.net
- ウェブサイト：actuallyworks.net

© 2026 ActuallyWorks Co., Ltd. ・ It just works, actually.